

平成30年度第1回住民自治地区連合会会議議事概要

日 時 平成31年1月23日（水）午前10時～11時20分
 場 所 伊賀市阿山支所第2会議室
 出席委員 上林委員（河合）、城委員（鞆田）、北川委員（玉滝）、前川委員（丸柱）
 事務局 居附阿山支所長、藤林振興課長、城島主幹
 東企画振興部次長、月井総合政策課長、竹森企画調整係長、藤原主幹
 傍聴者 なし

発言者	発言要旨
事務局 (支所)	ただいまより平成30年度第1回住民自治地区連合会を開催させていただきます。 伊賀市情報公開条例第35条に基づく会議の公開について 議事概要作成のための録音について 会議成立報告
支所長	～あいさつ～
事務局 (支所)	それでは事項書に従い進めさせていただきます。 事項1 会長・副会長の互選について どのように選出させていただいたらよいでしょうか。
委員	任意の会議である阿山住民自治協連絡会の会長・副会長を、連合会の会長・副会長としてお願いしたい。
委員	意義なし。(本人承諾) 会 長：鞆田自治協議会 城委員 副会長：玉滝地域まちづくり協議会 北川委員
事務局 (支所)	この後の進行につきましては、会長さんをお願いしたいと思います。また、事務局につきましても総合政策課でお願いします。
会長	互選ということで会長に選出いただきました。 皆様よろしくご審議お願いいたします。 それでは総合政策課よりご説明をいただきたいと思います。

次長	～あいさつ～
事務局 (総合政策課)	～事務局職員紹介～ ～資料確認～
事務局 (総合政策課)	資料に基づき説明（要旨は下記のとおり） 平成 15 年 12 月に策定された新市建設計画は、合併後 10 年間の新市の基本方針を示すものであり、合併特例債活用のための根拠計画である。平成 24 年に合併特例債の活用期間を 5 年延長する法改正があり、平成 30 年には更に 5 年間延長できる法改正がなされた。 今回の新市建設計画の変更は、今後の特例債発行可能残高を鑑み、また地域自治組織の改革時期にあたり、新市建設計画の影響をできるだけ短い期間にとどめたいとの理由から、2 年間の延長としたい。
事務局 (総合政策課)	～答申についての説明～
次長	補足ですが、“「特例債」は借金やないか”というご意見をいただくことがあります。 例えば 120 万円の事業をする場合、国・県の補助金で 1/2、市で 1/2 を負担しますが、合併特例債を使うと 60 万円の 2/3 すなわち 40 万円は返さなくてよいので、市は 20 万円の負担で事業を実施できるということになります。 合併特例債は、新市建設計画に基づく事業が対象であり、計画期間内に工事を完了する必要があるなどの制限がありますが、市民の負担を減らすことができる有利な財源ですので活用してまいりたいと思っています。
会長	ただいま資料に基づきご説明をいただきました。 もう少し詳しく聞きたいというようなことがございましたらご発言ください。
委員	合併当初は、“小さな本庁、大きな支所”ということでしたが、先日大きな新庁舎ができて小さな支所になるのではないかと。 もうすでに、今の支所庁舎は維持管理経費がかかるということで保健福祉センターへ移転する話が出ています。 新庁舎ができて旧郡部も便利になればいいが、当地域にとっては行政サ

	<p>ービス等すべてが小さくなっていることに対して住民の不安が大きい。包括交付金も減ってくるが、新庁舎にお金がかかったことのしわ寄せではないか。</p> <p>どこの地域でも同じ意見はでると思うが、当初の計画から変わってきていることについて、わかりやすくご説明いただきたい。</p>
次長	<p>合併当初は“小さな本庁、大きな支所”のとおり、人員配置も支所が多く、本庁が少なかったが、事務的に複雑となり、決裁に時間がかかる、本庁・支所の二重事務になるなどうまくいかなかった。</p> <p>職員数削減のためには事務の簡素化が必要であり、人員適正化計画に基づきバランスの良い配置を進めているところである。</p> <p>阿山に一部本庁機能があったため、この地域の方にとっては便利であったし飲食店等も潤っていたと思うが、新庁舎が建った今、財政規模を小さくするために経常経費を減らしていくことは必要である。</p> <p>“大きな支所”は、建物が大きく職員が多いということだけではなく、その機能を充実させることが大切である。</p> <p>皆様からご意見をいただいて改革をしていきたい。</p>
委員	<p>私は反対の意見で、包括交付金は減っていくけれども最終的には地域ががんばらないといけないと思っている。</p> <p>ただ、資料を見てますと職員人件費は増えていますよね。年間どれくらい残業をして、どれくらいの費用がかかっていますか。</p>
次長	<p>詳しい資料は持っておりませんが、資料の 9 ページを見ますと、平成 17 年から 26 年までで約 11 億円削減しており、そのあとは少し（削減が）停滞しているような状況です。</p>
委員	<p>市の広報には年間 3 億円を残業代として払っていると載っていた。職員数を減らしたと言うが、本当にその効果が上がっているのか。市職員も努力をしてくれないと困る。</p> <p>“キラッと輝け！地域応援補助金”は、がんばる地域を応援するという意味ではいいことだと思うがなかなか難しい。</p> <p>大きな支所は理想ではあるが、できっこない。市民センターにオールマイティな職員を置くとか、支所が小さくなくても充実するように考えてほしい。</p>

次長	<p>新市建設計画の中に支所や市民センターについての記載があり、見直さなければならない時期に来ている。今年を含め3年間かけて、充実できるように見直していきたい。</p> <p>“キラッと輝け！地域応援補助金”については、書類審査で発表会なし、内部委員による審査にするなど、使い勝手のよい補助金にしていきます。新しい事業だけでなく、継続事業のブラッシュアップも対象となりますし、備品購入費も5割まで対象になります。3年間で設備等を整えて、後は自主財源で活動していただけるようにと考えています。</p> <p>後日説明会を開催させていただくので、もしばらくお待ちいただきたい。</p>
委員	<p>それと高齢化の問題。当協議会では高齢化率37パーセントになっている。市は地域福祉ネットワークを作れと言うだけで社協に丸投げ。フォローは何もしてくれない。</p>
副会長	<p>ガバナンスを作ってコンプライアンスがない。</p> <p>昨日社協の会議がありましたが、阿山のデイサービスを集約するという話です。伊賀市の手法と同じで、何でも集約。</p> <p>伊賀市と社協もうまくいっていないように思う。</p> <p>支所の移転についても、保健福祉センターがどんな名前になって、どのようなレイアウトになるのか一向に見えてこない。</p> <p>地域住民にとって不安な要素がいっぱいあるのをどうするのか。</p> <p>きっちり横のつながりをもって住民目線で対応してほしい。</p>
委員	<p>阿山地区では毎年11月にけんずいまつりを開催している。31年度は何とか開催できるようだが、その先は確定していない。阿山の人がみんな集まる行事なので実施できる補助金をつけていただきたい。</p> <p>体育まつりについても、今は各戸から協賛金をいただいて開催している状況である。みんなが集まってこそ元気な雰囲気が作れると思うので、（補助金について）考えていただきたい。</p> <p>また、包括交付金が減ると実施できない事業も出てくる。地域でお金を出し合っというのも難しい。そのへんのことも考えていただきたい。</p>
次長	<p>上野の連合会でも“包括交付金の金額は確定なのか”というご意見がありました。補助金というのを見直しが必要であるので、不都合があれば修正はしていきたいと思っている。</p>

	<p>各自治協の決算書も見せていただくが、地域からの負担金徴収の実態はまちまちである。がんばってやっていた地域に補助金を交付するというのが本来の姿。市の補助金・交付金だけで事業を行うというのは永続的にできることではないので、一部負担をしていただくというのは当然ではないかと思っています。</p>
副会長	<p>チェック機能がない。</p> <p>しっかりと評価し、成果の上がらないものは廃止し良いことは広める。計画はコロコロ変えるのではなく、統一性を持ったしっかりしたものにしてほしい。</p>
会長	<p>伊賀市のまちづくりプランの42ページに「小さい本庁、大きな支所」とはっきり書いてある。これはそのまま放っておくのか。</p> <p>地域の60代、70代の人達の間には失望感が漂っている。この合併は何だったのか。人口減少が予想を大きく上回る速さで進み、いろんな施設が中心部へと集約されている。ハイトピアや新庁舎が建って、街の人はあまりマイナスを感じていないと思うが、旧郡部の人にとってはあまり恩恵がない。行く行くはコンパクトシティを目指しているのではないかと思えてくる。</p> <p>南庁舎や不信任案の件など市長側と議会の不毛な論議に、多くの住民は心を痛めている。行政と議会が協調して話し合い、住民のために考えていい方向へ向かうようお願いしたい。</p>
副会長	<p>学校等は別として、私達の生活は北（滋賀県）を向いている。いがまちの一部も同じである。合併の時はそこまで議論されなかった。</p> <p>公共施設最適化の話で、例えば文化ホール等は、そういった地域性を考えながら数を減らすことを考えていくべきだと思う。</p> <p>社会福祉については、社協が阿山のデイサービスを撤退し東部へ集約ということになって私達は本当に不安に思っている。</p> <p>要介護にならないような福祉活動をやっていこうとネットワーク会議を立ち上げたところで社協が出ていくと。こんなバカなことはない。</p> <p>市ももう少し厳しく社協をチェックしてほしい。</p> <p>社協事務所の行き先についても市がもっと協力すべきだと思う。</p>
委員	<p>社協の行き先は社協が考えないと。</p> <p>ホールにしても、最適化計画で2つ減らすと決まっているのならそうす</p>

委員	<p>ればいい。阿山支所も早く移転するべき。</p> <p>旧郡部の高齢者が動けなくなっている。 行政バスについても何度も改正しているがなかなか乗ってくれない。 三重交通玉滝線も利用促進対策路線になっている。 住みよい生活環境となるよう考えていただきたい。</p>
副会長	<p>伊賀市ももっと真剣にやらないと。 リーダーになるべき市の職員が自治協活動に参加していない。 トップがどう変わろうと、そのスタンスは変わってはいけない。</p>
会長	<p>伊賀市誕生の15年前、伊賀市は一つにまとまっていた。今は旧町村が消えてなくなってしまったように感じ、特に高齢者はあきらめの境地である。 少しでも良い方向に進めていただけようお願いしたい。</p>